



No.262  
2023.5.7

# 四季報

発行  
藤沢探鳥クラブ  
代表  
藤山 素子  
電話 0466-25-1817



カルガモ（2022年6月 藤沢市境川）撮影：嶋岡 章

<5月例会>

5月21日（日）

## 東京港野鳥公園探鳥会

（平坦）

※雨天中止

埋立地によみがえった野鳥の楽園、シギ・チドリ類の重要な生息地です。初夏の空のもと鳥を楽しみましょう。

**集合** JR 藤沢駅改札口 8:15 同駅 8:25 発籠原行き 先頭車両乗車 川崎 8:55 着 京浜東北線に乗換、大森で下車 同駅東口京急バス 7番のり場 9:35 発「森32」城南島循環で 野鳥公園 下車

**持ち物** 観察用具、弁当、飲み物、マスク、雨具等

**入園料** 300円（65歳以上は入園料半額）年齢を証明するものを持参

**解散** 現地にて 13:30 頃

**担当** 嶋岡 0466-50-5816 飯島 045-803-9294

<6月例会>

6月18日（日）

## 鎌倉広町緑地探鳥会

（坂、階段有り）

※雨天中止

鎌倉高校と七里ヶ浜高校の間の北側に残された48haの緑地を散策し、夏鳥や昆虫、植物を探しましょう。

**集合** 9:30 湘南モノレール西鎌倉駅改札口（参考 湘南江の島駅発 9:19、大船駅発 9:15）

広町緑地管理事務所前 9:50 も可

**持ち物** 観察用具、飲み物、帽子、弁当、雨具

**解散** 12:30 頃 昼食後 管理事務所前

**担当・問い合わせ**

青山 0466-87-2489 嶋岡 0466-50-5816

## 藤沢探鳥クラブ

### 2023年度総会報告

**日時** 2023年4月2日(日)  
11:00~12:45

**場所** 藤沢市民会館  
第二会議室

**出席者** 谷誠一、本田英昭、船山卓、嶋岡章、加藤健二、森静子、飯島秀子、橋本孝、城殿博、深田太、深田ゆみ、青山喜行、佐藤武、小林弘子、田中正信、大橋温子、濱伸二郎、藤山素子(18名)

**議事** (1) 2022年度事業報告 (2) 2022年度会計報告  
(3) 監査報告 (4) 2023年度事業計画 (5) 2023年度予算案 (6) 2023年度運営委員・監査役選出  
代表 藤山素子・会計 飯島秀子・総務 青山喜行・会報 田中正信・ホームページ 嶋岡章・広報 藤山素子・川名探鳥会 藤山素子、橋本孝・江ノ島探鳥会 谷誠一・新林公園の山道を歩く会 橋本孝・遠藤笹窪谷観察会 谷誠一  
(7) 規約改訂

## その他 藤沢探鳥クラブに望むこと

(1)~(7)が承認され、出席者から様々なご意見をいただき、有意義な総会を終了することが出来ました。(藤山記)

### 藤沢探鳥クラブ2023年度 予算(案)

自2023年4月1日 至2024年3月31日

	費目	2022年 決算額	2023年 予算額	増減額	備考
収入	前年度繰越金	278,336	324,539	+46,203	
	基金	36,651	36,651	0	
	会費	155,000	180,000	+25,000	@2400×75名
	寄付金	38,500	0	-38,500	
	雑収入	63,971	40,000	-23,971	講演会資料代
	小計	257,471	220,000	-37,471	
	合計	572,458	581,190	+8,732	
支出	会報印刷費	101,180	100,000	-1,180	6回発行
	会報発送費	36,589	48,000	+11,411	ヤマトメール便 封筒 宛名ラベル
	会議費	8,300	10,000	+1,700	例会、総会会場費 資料コピー費
	消耗品費	1,197	2,000	+803	事務用品
	観察費	16,000	20,000	+4,000	下見補助金@1000 ×2×10
	通信費	728	10,000	+9,272	切手 封筒
	講演会費	46,770	74,000	+27,230	会場費、講師謝礼他
	雑費	504	2,000	+1,496	
	合計	211,268	266,000	+54,732	

#### 次期繰越金

収入金額	支出金額	繰越金額	繰越金内訳
581,190	266,000	315,190	現金 278,539 基金 36,651

雑収入 講演会資料代 会員@500×32名 非会員@800×30名で計上しました

2023年4月1日 会計 飯島秀子

## 表紙写真説明 カルガモ 藤沢市境川 2022年6月2日撮影

カルガモがヒナを連れて泳ぎ回っていました。鳥たちは、ハヤブサやツバメの様に巣にヒナがいて巣立ちまで親鳥が餌を運ぶと思っていました。しかし、カルガモは、ふ化して間もないヒナが自力で餌を摂っていました。親は餌のある所へ引率し食べるのを見守っていました。

嶋岡 章

## 川名通年探鳥会

3月5日(日) 8:00~10:40 晴

森 静子

ここ数日の暖かさに慣れた身体が今日の日差しのない寒さに戸惑いながら川名探鳥会に参加しました。曇り空を見上げながら境川と柏尾川の合流地辺りからヒドリガモ、オオバン、イソヒヨドリ、カワセミなどが見られ、次第に寒さも忘れて鳥たちに見入りました。谷戸に入る頃にはアオジと共にアカハラに出会え、久し振りに見るアカハラに数人が歓声をあげ、途中のタチツボスミレに心が和んできました。帰り道にはモズ、メジロ、ジョウビタキが可愛い姿を見せてくれ満足の探鳥会でした。

**見聞きした鳥** ヒヨドリ、ヒドリガモ、ムクドリ、トビ、ジョウビタキ、シジュウカラ、モズ、アカハラ、カワセミ、イソヒヨドリ、ハクセキレイ、アオサギ、ツグミ、コサギ、スズメ、オオバン、カワウ、ハシブトガラス、キジバト、ヒメアマツバメ、ハシボソガラス、メジロ、イソシギ、アオジ、ユリカモメ、カルガモ (26種) 外来種 ドバト (1種)

**参加者** 青山喜行、城殿博、宮本京子、加藤健二、深田太、深田ゆみ、佐藤武、田中正信、大石正子、三宅泉、谷誠一、森静子、嶋岡章、飯島秀子、石井浩子、大橋温子、橋本孝、大山厚子、藤山素子 (19名)

4月2日(日) 8:00~10:45 晴

深田 ゆみ

東奥田公園や川沿いの桜がまだまだ綺麗に咲いていましたが、鳥の姿は少なくいつもの

ら桜に群れるメジロやシジュウカラもかろうじて確認できるといった淋しいスタートでした。カモ類も少なくなりましたが、ツバメ類があちこちで確認でき季節の移り変わりを感じるのも探鳥会では楽しいことです。川名清水谷戸近くではハヤブサがはっきりと確認できミサゴも一瞬でしたが大きな姿を見せてくれました。

ケキツネノボタンなど春の草花や初夏にはユニークな花が咲くウマノズクサの葉はジャコウアゲハの食草だと教えて頂き身近な自然を感じるワクワクする楽しい時間を過ごせました。

**見聞きした鳥** ハヤブサ、ミサゴ、ツグミ、ヒメアマツバメ、シジュウカラ、オオバン、ハシボソガラス、ヒドリガモ、コサギ、スズメ、メジロ、ヒヨドリ、カワウ、トビ、カワラヒワ、アオサギ、イソヒヨドリ、ハクセキレイ、ウグイス、カワセミ、ハシブトガラス、イワツバメ、ツバメ、カルガモ (24種) 外来種 ガビチョウ、コジュケイ、ドバト (3種)

**参加者** 橋本孝、城殿博、飯島秀子、青山喜行、太田千佳子、田中正信、深田太、深田ゆみ、佐藤武、宮本京子、藤本悦朗、谷誠一、加藤健二、中村幸男、藤山素子、小林弘子、嶋岡章、高橋和也、大橋温子、森静子 (20名)

## 早戸川林道探鳥会

3月19日(日) 9:50~13:50 快晴

青山 喜行

本厚木発の宮ヶ瀬行きバスは、増便されたにも関わらず、立ち席が出るほど登山者が多かったが、途中で降りて終点まで乗っていた

のは我々だけだった。

歩き始めて間もなく、幸先良くベニマシコのペアが、すぐ近くの斜面で新芽などを盛んに食べているのをじっくり観察出来たが、いつまでも居るので、我々の方から離れた。



ベニマシコのオス(左)とメス(右) 写真撮影; 酒井進

湖の対岸の枯れ木にミサゴが止まっており、遠かったがじっくり観察し、なんと昼食後の帰りにもまだそこに居た。

鳥は多くはなかったが、春めいた爽やかな天気の中、探鳥会を楽しんだ。

**見聞きした鳥** ベニマシコ、カワウ、エナガ、ミサゴ、ヤマガラ、シジュウカラ、ジョウビタキ、ダイサギ、アオサギ、トビ、キセキレイ、ハクセキレイ、ウグイス、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハイタカ、メジロ、コゲラ (18種)

**参加者** 相原年夫、田中正信、谷誠一、嶋岡章、城殿博、深田太、深田ゆみ、酒井進、青山喜行、中村幸男、藤山素子、大宅悦子 (12名)

## 木もれびの森探鳥会

4月16日(日) 9:10~14:50 晴れ

石井 浩子

「木もれびの森」は最寄り駅の「古淵」を20分ほど歩いた所にあります。人の手が程よく入った広大な雑木林。林の中には、歩きやすい道が何本も通っているので、観察や散

策しやすくなっています。

林に入って直ぐに木の間を飛び交う鳥がみられ、イカル、シメ・・・等々どこどこと、皆さん興奮状態。木の葉っぱも若葉で、虫の幼虫も沢山いるので鳥も食事に大忙し、私達も目の保養になりました。野草のキンラン、イチリンソウ、ニリンソウ、シラユキゲシ、ニシキギの花、ウワミズザクラ、ミズキの花・・・沢山咲いていました。満足して帰る途中、慰霊塔の境内の木の根元においているアオゲラをみられたのが、今日のシメになりました。大満足の探鳥会で終える事ができました。

**見聞きした鳥** オナガ、シジュウカラ、ツグミ、シメ、ムクドリ、ヒヨドリ、ヤマガラ、イカル、アオゲラ、コゲラ、キジバト、ウグイス、スズメ、カワウ、メジロ、エナガ、カワラヒワ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、アカハラ (20種) 外来種 ガビチョウ、コジュケイ (2種)

**参加者** 下里由香、宮本京子、城殿博、谷誠一、佐藤武、酒井進、田中正信、大橋温子、太田千佳子、石井浩子、飯島秀子、秋山孝、中村幸男、藤山素子 (14名)

## 江の島探鳥会

3月10日(金) 晴れ 8:35~11:45

谷 誠一

春の暖かい風の強い中を、トビやカラスが巢作り用の大きい枝や枯草を運んでいる。5月にはヒナが顔を出すでしょう。カメラマンの方が江の島サムエル・コッキング苑に、マミチャジナイが来ているとの事、皆で探し一

人の方が走って生垣の中に入るのを見たが自信がないとの事でした。この鳥は、6年前に長久保公園に5日位居たことが有ります。防波堤の海ではカワウが口より大きな魚が呑み込めず何度も海に落とし、天を仰ぐ様に呑み込んだが半分でのどに詰まりカモメが来たので慌てた様子で呑み込んだ。ウミアイサ♀、ミヤコドリもまだいました。

**見聞きした鳥** アオサギ、ヒドリガモ、トビ、カンムリカイツブリ、カワウ、ヒヨドリ、ウミアイサ、クロサギ、ジョウビタキ、キジバト、メジロ、スズメ、シロハラ、ハヤブサ、ユリカモメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ハクセキレイ、シジュウカラ、ウグイス、ミヤコドリ、ウミネコ、イソヒヨドリ、オオセグロカモメ (25種) 外来種 ガビチョウ (1種)

**参加者** 田中正信、佐藤武、城殿博、深田太、深田ゆみ、酒井進、相原年夫、藤山素子、野崎直子、中村幸男、谷誠一 (11名)

4月14日 (金) 晴れ 8:30~11:40  
谷 誠一

風が強く黄砂で小田原、真鶴半島が何にも見えない白波の中、ユリカモメが200羽以上海に漂っている、その上をオオミズナギドリが数羽飛び回っていた。

ハヤブサが大きな枝に止まっていたが急に枝から飛び出しトビを追いかけ回し撃退し戻ってきた。今年もツバメがやって来ました。江の島は、桜が葉桜に成り藤の花が満開で華やかです。

**見聞きした鳥** スズメ、カワウ、ユリカモメ、シジュウカラ、ハシブトガラス、メジロ、トビ、オオミズナギドリ、ウミネコ、ハクセキ

レイ、ハヤブサ、ヒヨドリ、ツバメ、イソヒヨドリ、ミヤコドリ、カルガモ、オオバン (17種) 外来種 ガビチョウ、ドバト (2種)

**参加者** 小林弘子、城殿博、田中正信、大橋温子、安永明、板谷泰宏、藤本悦朗、宮本京子、野崎直子、谷誠一 (10名)

## 遠藤笹窪谷観察会

3月25日 (土) 雨の為中止

## 新林公園の山道を歩く会

3月14日 (火) 晴れ 9:00~13:30  
藤山 素子

新林公園の早咲きのサクラが開花し樹々の新芽も顔を出し、今月しっかりと冬鳥を見ておかねば! と思い歩き始めました。

前月同様、アオジが低ブッシュの中を飛びかう姿に一安心。メジロやシジュウカラは忙しそうに動き回っていました。ウグイスカグラは満開で可憐な花を咲かせ、アオキの赤い実が、存在感を示し、ニワトコの花が咲き、ヒサカキが強いにおいを放っていました。

毎月見続けている変形菌マンジュウドロホコリは色の劣化、ひび割れが増していますが、まだコナラ?の朽木にへばりついています。さて来月は?

参加者、公園管理の方からアオゲラのドラミングを聞いているとのことで期待したものの観察時間内では聞くことはできませんでしたが、シロハラの採餌を見ることができました。来月の新林公園は春の花が咲き誇っていることでしょう。

**見聞きした鳥** アオジ、トビ、シジュウカラ、ウグイス、シロハラ、コゲラ、カワウ、ヒヨドリ、メジロ、カワラヒワ、ヤマガラ、キジバト、ハシブトガラス、ハシボソガラス、カルガモ、スズメ(16種) 参考種 マガモとカルガモの交雑と思われる個体(1種)  
外来種 コジュケイ、ガビチョウ(2種)

**参加者** 大橋温子、藤山素子、橋本孝、加藤健二、田中正信(5名)

4月11日(火) 9:00~12:30 快晴

田中 正信

早くもフジの花が咲き、クマバチが飛び交う集合地点のパーゴラから、この会としては大人数の9名でスタートした。

山道に入ると新緑が生い茂り、野鳥は声だけで見つけることが難しくなったが15種を確認できた。代わってルリタテハやクロアゲハ、ジャコウアゲハ、ニホンミツバチ等の昆虫類が出現。道沿いにはホウチャクソウやウラシマソウ、ハンショウヅルが次々と姿を見せる。フデリンドウは大株の花が盗掘されたようで残念だったが、複数の小株が咲いている。草むらの中にタニギキョウを参加者が探して発見。圧巻はクマガイソウで、群落で多くの花を見せてくれた。

マンジュウドロホコリは朽木に変わらず残っていたが、張り付いている樹肌と似た茶色への変色が進み、擬態の様。

鳥合わせ中に、特殊な飛び方で大木のヤマモモの高枝にとまったコウモリを発見。大型で濃い茶色の体色、昼間の単独での出現、高速で敏捷な飛び方からオヒキコウモリでは。同定はできないが、最後に予期せぬ動物にも出会えた会だった。

**見聞きした鳥** ウグイス、アオサギ、イワツバメ、カルガモ、シジュウカラ、トビ、ムクドリ、キジバト、ヤマガラ、エナガ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、コゲラ、メジロ、ヒヨドリ(15種)

外来種 ガビチョウ、コジュケイ(2種)

**参加者** 加藤健二、橋本孝、田中正信、大橋温子、実野悦子、大山厚子、板谷泰宏、徳江祐子、藤山素子(9名)

## 前号(261号) 2月14日新林公園の 山道を歩く会 の記載事項訂正

感想文および見聞きした鳥に記載した「マガモ」は「マガモとカルガモの交雑と思われる個体」の誤りではとの指摘がありました。お詫びして訂正いたします。(田中正信)

## 見沼たんぼ探鳥会

2月23日(木) 10:00~14:30 晴れ

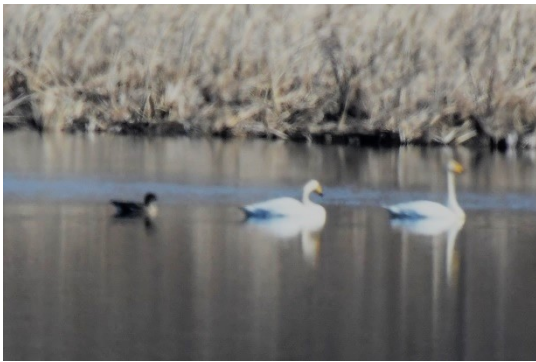
小林 弘子

見沼たんぼの現在は首都圏に近い広大な緑地空間だが、昔から様々な河川管理が行われてきた歴史的にも貴重な場所であったらしい。今回の目的地はその一角、芝川第一調節池という東京ドーム13個分くらいの広さの芝川の左岸池で、洪水時には水を貯め一時的に流量を減らすことを目的とする人造池だそう。

東浦和駅で案内して頂く藍沢氏と合流した。駅から10分も歩くと早速、シメ、ツグミ、アカハラ、モズのお出迎え。さらに広々とした農耕地に出ると、ヒバリがさえずり、枯草に同化したキジ早も現れた。芝川ではベニマシコのやさしい声が聞こえる。オオジュ

リンはヨシに止まり盛んに茎をつついてい  
る。カシラダカ、アオジは地上で何かをつい  
ばんでいる。天気も回復し、青空が広がり、  
ワクワク感が高まってきた。

左岸池には一周できる遊歩道があり、鳥が  
見やすいやさしい環境に整備されている。昼  
食後、今回のハイライト、オオハクチョウ2  
羽と一緒に行動する1羽のヒシクイが!!。キ  
ンクロハジロ、ミコアイサ、カンムリカイツ  
ブリたちは昼寝中か。



**オオハクチョウとヒシクイ (左) 撮影; 田中正信**

前日まではたくさんいたというカモ類は、  
数は少なかったが一周すると8種ほど見ら  
れた。低木の横枝にはトラフズク2羽が、  
これは教えて頂かないと全く気付かなか  
った。猛禽類はオオタカ、ハイタカ、ノス  
リ、チョウゲンボウが出て、上下左右と鳥見  
に忙しくゆっくり休む暇はなかった。時間  
が許せばコミミズク、チュウヒも期待できそ  
うだが、それはまたの機会に。

14時30分、ベンチで鳥合わせ。何と50  
種類も確認できた。帰路は近くの念仏橋バ  
ス停より浦和駅に出た。楽しい一日だった。

**見聞きした鳥** アカハラ、ハクセキレイ、モ  
ズ、セグロセキレイ、メジロ、エナガ、スズ  
メ、シメ、ジョウビタキ、シジュウカラ、コ

サギ、ツグミ、ムクドリ、アオサギ、ヒバ  
リ、ダイサギ、コガモ、ハシボソガラス、ホ  
シハジロ、ヒヨドリ、ミコアイサ、マガモ、  
ハシビロガモ、キジバト、カワラヒワ、オオ  
バン、ベニマシコ、アオジ、オオハクチョ  
ウ、ヒシクイ、カンムリカイツブリ、カイツ  
ブリ、カワウ、カルガモ、オオタカ、ハイタ  
カ、トラフズク、トビ、カワセミ、ホオジ  
ロ、カシラダカ、オオジュリン、ノスリ、チ  
ョウゲンボウ、キンクロハジロ、キジ、オカ  
ヨシガモ、ハシブトガラス、ウグイス、コゲ  
ラ (50種) 外来種 ドバト、コジュケイ  
(2種)

**参加者** 田中正信、藤田正昭、佐藤武、江面  
裕一、小林弘子、大橋温子、藤山素子 (7名)  
ガイド 藍沢司氏

## **運営委員会報告**

運営委員会では、下記の議題について討議さ  
れました。

3月5日 四季報261号の講評、262号につい  
て、今後の行事、四季報についてのアンケー  
ト、投稿写真、総会について、等  
4月2日 講演会について、等

## **行事等案内**

### **川名 通年 探鳥会**

毎月第一日曜日 ※雨天中止

6月4日 (担当: 橋本、未定)

7月2日 (担当: 藤山、未定)

集合 8:00 JR 藤沢駅南口名店ビル前地下  
道入り口付近

### **江の島探鳥会**

毎月第2金曜日 ※雨天中止

5月12日 (金)・6月9日 (金)

7 四季報262号 (2023.5.7)

集合 8:30 解散 12:00頃

集合場所 江の島弁天橋を渡った左の公園  
藤棚の下

連絡先 谷 0466-34-0381

## **遠藤笹窪谷観察会**

5月27日(土) ※雨天中止

集合 9:00 解散 12:00頃

集合場所 慶應大学バス停・旧スルガ銀行前  
(現在、駐車場になっています。)

連絡先 谷 0466-34-0381

## **新林公園の山道を歩く会**

毎月第2火曜日 ※雨天中止

5月9日(火)・6月13日(火)

集合 9:00 新林公園パーゴラの下

解散 12:00頃 同上

連絡先 橋本孝 0467-85-6077

## **番外 ◇木もれびの森探鳥会 初夏編◇**

5月28日(日) (平坦) ※雨天中止

4月16日開催された「木もれびの森探鳥会」では新緑の森で北帰行前の冬鳥たちに会えましたが、初夏では緑濃い森で夏鳥たちの声を聴くことが出来るでしょう。ご一緒に夏鳥たちのコーラスを聞きに出かけましょう。

集合 8:15 小田急藤沢駅改札口

藤沢駅 8:25 発快速急行新宿行最後尾車両乗車→(参考 湘南台 8:32) →8:51 町田下車→9:05 J R横浜線八王子行に乗り換え→9:08 古淵下車→徒歩約20分

持ち物 観察用具、弁当・飲み物、敷物等

解散 14:30頃 現地にて

担当 藤山 0466-25-1817 田中 0466-27-2384

**◎ 記載の行事はどなたでも申し込み不要でご参加いただけます。**

## **●アンケートにご回答ください**

4月2日(日)川名通年探鳥会時から会員の皆様に「四季報に関するアンケート」をお願いしております。5月末日までにご回答くださるようお願いいたします。

## **年会費について**

2023年度より年会費(4月～3月)が2,400円に改定されています。

**会費振込先**; 郵便為替口座番号

00230-2-38355 藤沢探鳥クラブ

郵便局以外の銀行から振り込む場合は、

ゆうちょ銀行029店 当座0038355

フジサワタンチョウクラブ

なお、探鳥会で現金でも受付けています。

## **藤沢探鳥クラブ連絡先等**

藤山 素子 0466-25-1817

HP アドレス ; <https://fujsbwc.jimdofree.com/>



ホームページのQRコードです。スマホなどから読み取ってご覧ください。

今号から編集担当を嶋岡さんから引き継ぎました。不慣れのため不備があったらご容赦下さい。投稿先は下記です。(田中)

田中 正信(原稿・添付写真)

〒252-081 藤沢市鶴沼藤が谷4-13-26

e-mail ; tanamasa@theia.ocn.ne.jp

電話/FAX 0466-27-2384

青山 喜行(表紙写真・説明文)

〒252-0816 藤沢市遠藤930-5

e-mail : aoyama-y@jcom.home.ne.jp